

## クボタグループの使命

世界中に感染拡大した新型コロナウイルス。感染症対策の基本として掲げられる「手洗い」。日本において、それが実践できるのは百パーセント近い水道普及率によるものである。

およそ百二十年前、近代化の中で蔓延するコレラから人々を救いたいと、日本で初めて水道管の国産化を成し遂げたのが、クボタの創業者・久保田権四郎である。

1905年頃のクボタ鉄管出荷場

## 創業以来、常に社会課題の解決 これからも人々が生きていく

### 創業 1890

#### 事業の礎

① ② ③

鋳物メーカーとして創業。  
衡器用鋳物・日用品鋳物の製造開始

- 食料
- 水
- 環境

1893

国内で初の「水道用鉄管」の製造に着手



1905年頃のクボタ鉄管出荷場

1947

農業機械化の先駆けとなる「耕うん機」を開発



耕うん機第1号機

1960

農村部の労働力不足を支えるため、「トラクタ」を開発



畑作用乗用トラクタ

## 企業理念

### 「クボタグローバルアイデンティティ」

#### スピリット

(私たちの精神・姿勢)

- 一、総合力を生かしそうれた製品と技術を通じて社会の発展につくそう
- 一、会社の繁栄と従業員の幸福を希って  
今日を築き明日を拓こう
- 一、創意と勇気をもって未知の世界に挑戦しよう

に全力を尽くしてきました。  
うえで必要不可欠な「食料・水・環境」分野で世界に貢献していきます。

社会の発展とともに

グローバル企業へ

SDGsの達成に向けて

2030

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

**1962**「水処理事業」に進出し、顕在化してきた  
水質汚染問題に対応事業部発足後に初受注した  
広島県三次市のし尿処理施設**1968**

現在の「田植機」の原型を量産化



現在の田植機の原型となったモデル

**1974**小型建設機ミニバックホーの製造を開始し、  
小規模な都市型工事に貢献後のクボタミニバックホーのベースとなった  
全旋回式小型油圧ショベル**2011**世界で初めて米国CARBの認証を取得するなど、世界のエンジン排出ガス規制に  
スピーディに対応

⑦

第4次排ガス規制に対応したエンジン

**2014**フランスに大型畑用トラクタの生産会社  
を設立

広大な畑で活躍する大型トラクタ

**2015**

ミャンマーで上下水処理施設等を建設



ティラワ工業団地に施工した浄水場

クボタグループの事業領域

事業と関連の深い  
SDGs地球環境テーマ  
→P12・13参照クボタグループは、農業の効率化によって  
豊かで安定的な食料の生産に  
貢献します。

食料

2 貧困を  
ゼロに1 貧困を  
なくすクボタグループは、水インフラの整備によって  
安心な水の供給と再生に  
貢献します。

水

6 安全な水とトイレ  
を世界中に3 すべての人々  
が健康と福祉をクボタグループは、社会基盤の整備によって  
快適な生活環境の創造と保全に  
貢献します。

環境

11 住み続けられる  
まちづくりを7 エネルギーみんなに  
アクセスできるように14 海の豊かさを  
守ろう15 陸の豊かさも  
守ろう■ ブランドステートメント  
(私たちの約束)

**For Earth, For Life**  
**Kubota**

■ ミッション  
(私たちの使命)

人類の生存に欠かすことのできない食料・水・環境。  
クボタグループは、優れた製品・技術・サービスを通じ、  
豊かで安定的な食料の生産、安心な水の供給と再生、  
快適な生活環境の創造に貢献し、地球と人の未来を  
支え続けます。



クボタ・グローバル・ループ